

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔28〕 東京都台東区立いけのはたデイホーム					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	たなかデイホーム					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区池之端2-1-22					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~2日を除く)8時30分~17時15分					
(5)規模	延べ床面積 4,310.65㎡の内194.74㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階のうち1階の一部(忍岡小学校内)					
(6)人員体制	4名 内訳...介護職員(常勤1、非常勤2)、看護職員(非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、介護予防通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員15名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	0	0	0	0	0
	料金収入等	28,628,000	28,627,000	28,342,000	28,876,000	2,647,000
	管理経費	28,628,000	28,627,000	28,342,000	28,876,000	2,647,000
決算	委託料	0	0	0	0	0
	料金収入等	34,683,444	32,274,431	31,221,244	29,223,667	32,579,027
	管理経費	32,619,050	27,426,873	25,378,471	24,651,945	24,806,456
	収支	2,064,394	4,847,558	5,842,773	4,571,722	7,772,571
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	311	311	312	313	
定員	人	15	15	15	15	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率	%	86.0	80.9	74.7	83.2	
利用者数	人	4,100	3,773	3,496	3,905	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

利用率向上のため、季節に合わせたクッキングや不忍池・根津神社への外出など特色あるサービスの提供を行っている。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [3]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。職員配置についても、基準以上の職員を配置するなど、サービスの向上に努めている。
(2)施設の維持管理	A	設備の定期的な保守点検や備品の管理、衛生管理等が適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	満足度調査の結果は概ね高く、毎月利用者に聞き取りを行う「座談会」を設け利用者に結果を文書で報告している。また、同敷地内の小学校とは、行事への参加等積極的な交流を行っている。
(4)歳入歳出	A	予算は概ね適切に執行されている。今後も引き続き経費の縮減を図るなど、収支の改善に努めていく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	利用者の声を聞く「座談会」を設け、要望を反映したプログラムを実施する等、利用者満足度の向上に努めている。また、今年度は利用者数も増加した。
-----------	---

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

満足度調査の結果も概ね高く、利用者本位のサービスを提供しており、施設の管理運営も全体的に適切に実施されている。今後も利用者のニーズに沿った高水準のサービスの提供を行いながら、さらなる利用率の向上に繋げていく必要がある。